

保有する個人情報に関する事項の公表等のご案内

個人情報の保護に関する法律に従い、当機関が収集した個人情報データについて、下記の通り公表させていただきます。

はじめに

JAGES（Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究）プロジェクトが実施する「2019 年度健康とくらしの調査」では、全国 66 市町村の要介護認定を受けていない高齢者を中心に約 38 万人に調査票を送付しました。

この調査では、各市町村の保険者が主体となり「健康とくらしの調査」を実施致しました。保険者は、回収しました調査票の被保険者番号を暗号化し、JAGES に受け渡し、JAGES が分析を行います。

その成果の一部を「健康とくらしの調査」の調査票の表紙の裏面「調査へのご協力のお願ひ」でも公開しております。研究利用に対して、同意を得られた調査データを利用し、分析を行っております。

1. 当該研究を行う機関の名称

国立長寿医療研究センター
千葉大学予防医学センター
京都大学大学院医学研究科
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
浜松医科大学健康社会医学講座
日本福祉大学社会福祉学部
他、JAGES に参加する研究者が属する大学・研究機関

2. すべての保有する個人情報の利用目的

JAGES に参加する研究者は、「健康とくらしの調査」により得られた、個人情報を含まないデータを用いて分析等を行います。分析等を通して、高齢者の健康に関連する生物学的な要因だけでなく心理・社会的な決定要因にも着目した健康な社会づくりに向けた科学的知見の生成や、その知見を社会にフィードバックしていくことを目指しています。

また、保険者との共同研究により、健康関連指標を用いた地域間比較などによる地域診断を行い、各保険者が優先すべき介護予防の課題や、介護予防事業の効果の評価などを行います。さらに、上記の調査で得られたデータと、各保険者の介護保険担当課や介護予防担当課が保有するデータ、健診担当課が保有する各種健診データなどから要介護リスクやその生成プロセスを明らかにし、効果的な介護予防や健康づくりの方法を検討します。

さらに、海外の高齢者データを用いた国際比較研究により、日本の高齢者の特

徴を明らかにすることも行います。

調査対象市町村には、東日本大震災被災地である宮城県岩沼市、熊本地震被災地である熊本県御船町も含まれており、震災前後のパネル（同じ方に震災前後で繰り返し回答して頂いた）データを用いて、災害時の健康影響や保護要因の検証にも取り組みます。

3. 個人情報の開示等の求めに応じる手続き

3 - 1. 個人が識別できる個人情報の利用目的の通知方法

データの利用目的に関しては、調査票の説明文およびウェブサイト、市町村公報などで通知しています。

3 - 2. 個人が識別可能な個人情報の開示

JAGES 事務局内部では、保険者によって暗号化された被保険者番号を用いて各種データを結合した後に暗号化された被保険者番号を削除し、研究者に配布しておりますので、個人情報は含まれていません。

そのため、個人情報の開示に関しましては、お住いの市町村の保険者にお問い合わせ下さい。

3 - 3. 個人情報の訂正

JAGES では個人情報を保有しておりませんので、個人情報の訂正に関しましては、お住まいの市町村の保険者にお問い合わせ下さい。

3 - 4. 個人情報の利用停止

JAGES では個人情報を保有しておりませんので、個人情報の利用停止に関しましては、お住まいの市町村の保険者にお問い合わせ下さい。

3 - 5. 個人情報の第三者への提供

JAGES では個人情報を保有しておりませんので、個人情報を第三者に提供することはありません。

3 - 6. 個人情報開示の際の手数料

個人情報開示に関わる手数料は設けておりません。

4. 保有する個人情報の取扱いに関するお問い合わせ先

健康とくらしの調査コールセンター

TEL : 0120-900-678（平日 9:00～17:00）

または、

JAGES 事務局

mail : jages-chosa@jages.net（平日 9:00～17:00）